

経済指標ウォッチャー

米ISM非製造業景況感指数 1月も市場予想を上回る上昇

雇用の改善により、サービス業景況感は上昇

ISM非製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）がサービス業を中心とする非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の非製造業の景況感を示す指標のひとつ。毎月第3営業日に公表される。米国GDP（国内総生産）において非製造業は全体の約7割を占めていることから、製造業景況感指数より重要と考える投資家も多いと言われる。製造業景況感指数と同様、50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

サービス業景況感は8ヵ月連続で50を上回る

全米供給管理協会(ISM)が2月3日に公表した、2021年1月の非製造業景況感指数は58.7（市場予想:56.9）となり、2020年12月の57.7から上昇しました(図表1)。好不況の判断の節目となる50を上回るのは2020年6月から8ヵ月連続です。

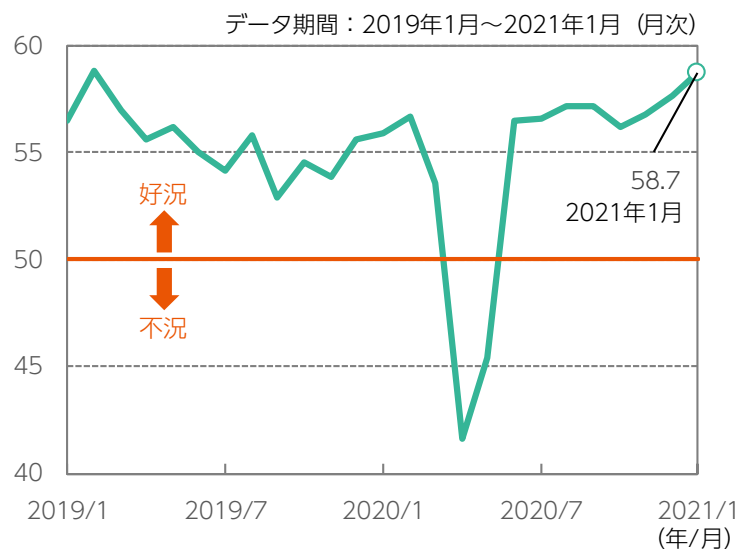
1月は、宿泊・飲食サービス、建設や輸送などの14業種において景況感の改善が報告された一方、娯楽や公益などの4業種では景況感の低下が報告されました。

活動制限の一部緩和で雇用が大きく上昇

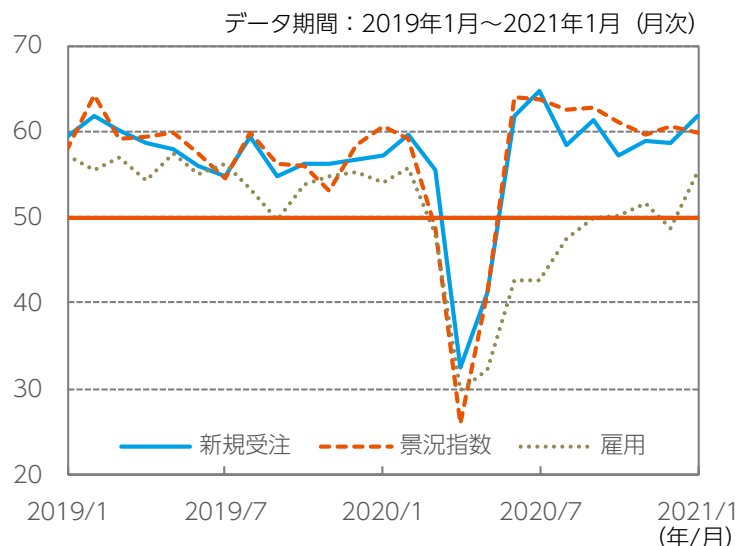
主な構成指数別では、景況指数が59.9(前月比 - 0.6) と前月から小幅に低下しました。一方、新規受注は61.8(同+3.2)、雇用は55.2(同+6.5)と、前月から大きく上昇しました(図表2)。新型コロナウイルス検査の陽性率の低下や、入院者数の減少などにより、ニューヨーク州では店内飲食が可能となるなど一部の地域で活動制限が緩和されました。1月のサービス業景況感指数の上昇は、活動制限の一部緩和による雇用の改善が主な要因となったとみられます。

一方、冬場の感染再拡大を受けた再度のロックダウン（都市封鎖）によるサプライチェーンの混乱で、生産活動が大きく抑制されたことが影響し、1月の製造業の景況感は前月からやや低下しました。これまで製造業に比べ経済活動停滞の影響を大きく受けてきたサービス業の景況感は、入店制限などの感染防止策を講じながら、緩やかな回復基調にあるようです。バイデン新政権は、ワクチン、検査・医療品の供給拡大などの国家戦略を公表しており、感染抑制と経済活動の早期正常化への期待が高まります。しかし、営業時間の短縮などの活動制限は長期に及ぶことも予想され、サービス業の景況感は再び低下する可能性もありそうです。

図表1：サービス業景況感は市場予想を上回る



図表2：雇用が前月から大きく上昇



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>